

13  
3222  
5





小歌乃小まぢ

山東庵  
京山作

歌川國直画

上

天保九戊  
初春

此  
歌

小町浮世源氏絵十三編

上之巻

よみとめ

此の春の小町浮世源氏  
 僧の草子にて作  
 書肆錦森堂梓小止  
 志小幸に世ふをまはれ  
 幸々その跡を継已に十編と  
 全部と去年をまはれ  
 大尾とあすりあるまはれ  
 巻中の人物始りてその  
 終り成るまはれ或はまの巻と  
 の年月名とあすりなすりあはれ



へ13  
 3222  
 5



一 てもく事多し其終りて  
 一 なるさうの作文の法則なるを  
 一 ゆゑ小十三十四の編をも作してはて  
 一 その故さうに補はんといひて  
 一 まさかといひて下々の長巻  
 一 儀へ向く人嘘とせし  
 一 野夫の長巻へりし小箒  
 一 をなす事あり繪ざりし  
 一 教編を任すも長談議の  
 一 ありしをひらき  
 一 京山真の下とてそのふ  
 一 あらうかひの疎漏は百もあま  
 一 ちれせり丁ごころらとていへん  
 一 天保七年筆を十二巻ん小むめ  
 一 多きりか好の世かてぐ小町へ  
 一 わさでいふぬらうのめくと  
 一 書肆さうらうのげの掃さ  
 一 十二巻んのわらわつとてその小町



作者の種本をよすも各住諸君の  
 一 ひひのきも  
 一 あらうその大綱の先板の浮世源氏  
 一 繪ふ能きとも小條の例の疎漏  
 一 かりりともさうささささ  
 一 あらうの手もさうさささ  
 一 向い腹さ生さ次勇敢て草稿を再せん  
 一 将ふ是無本をもさへる講釈師に異  
 一 ありて  
 一 一 前さ小や上抄へ先板に  
 一 一 草の少将さ  
 一 一 西鏡錦の心旗勘合の印さ  
 一 一 小野の小町さ  
 一 一 のさし事あふびふ大伴の  
 一 一 後座の白九屋のもんさ  
 一 一 を代才之弟と心中の一件さ  
 一 一 作者へいさささ  
 一 一 えんさささ





おのれのいふまゝに  
小町は車はらぬと  
いふがらうか  
わきまをうけ  
のまゝに  
おのれのいふまゝに  
小町は車はらぬと  
いふがらうか  
わきまをうけ  
のまゝに

まづきまをきかぬ  
おのれのいふまゝに  
小町は車はらぬと  
いふがらうか  
わきまをうけ  
のまゝに



おのれのいふまゝに  
小町は車はらぬと  
いふがらうか  
わきまをうけ  
のまゝに





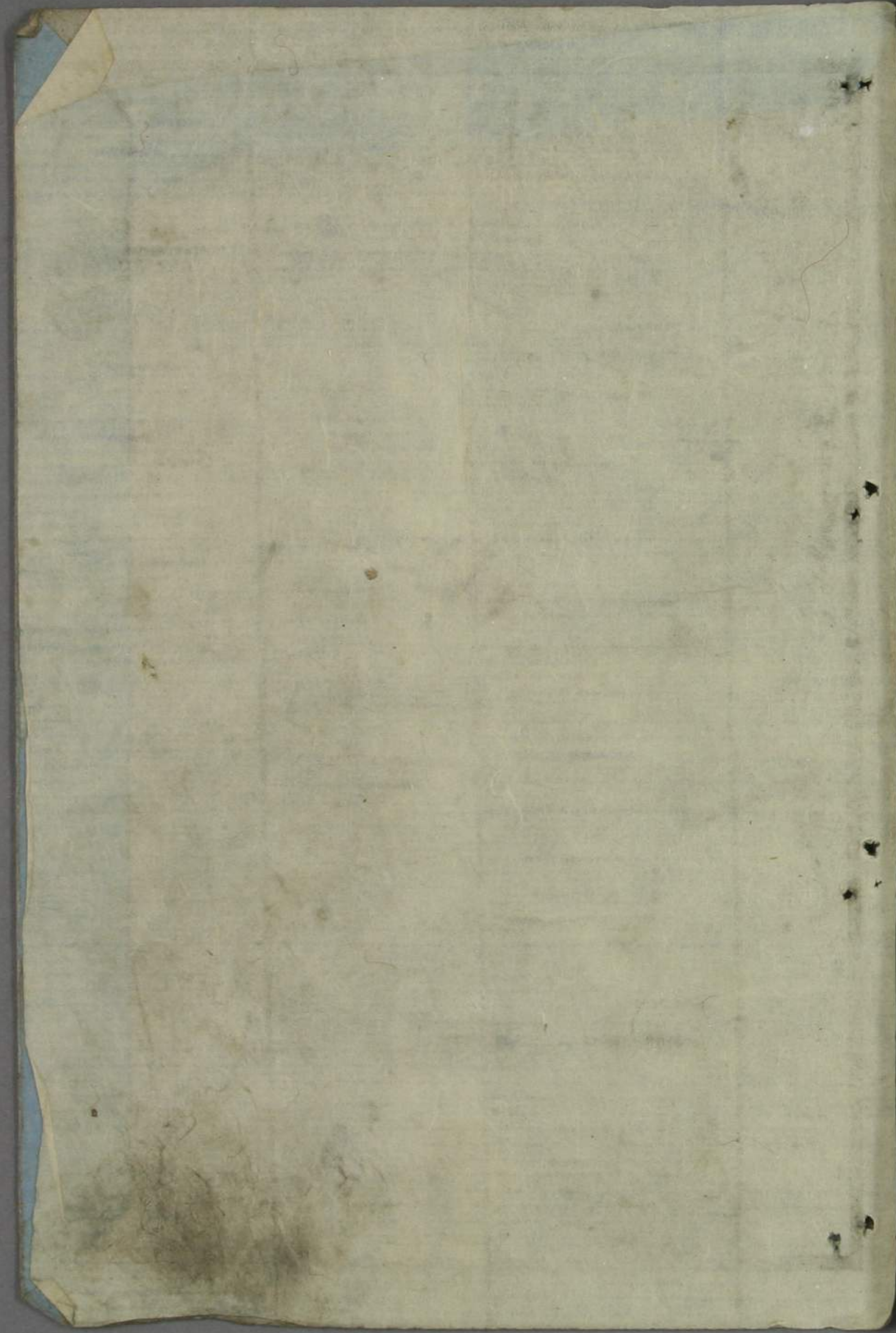










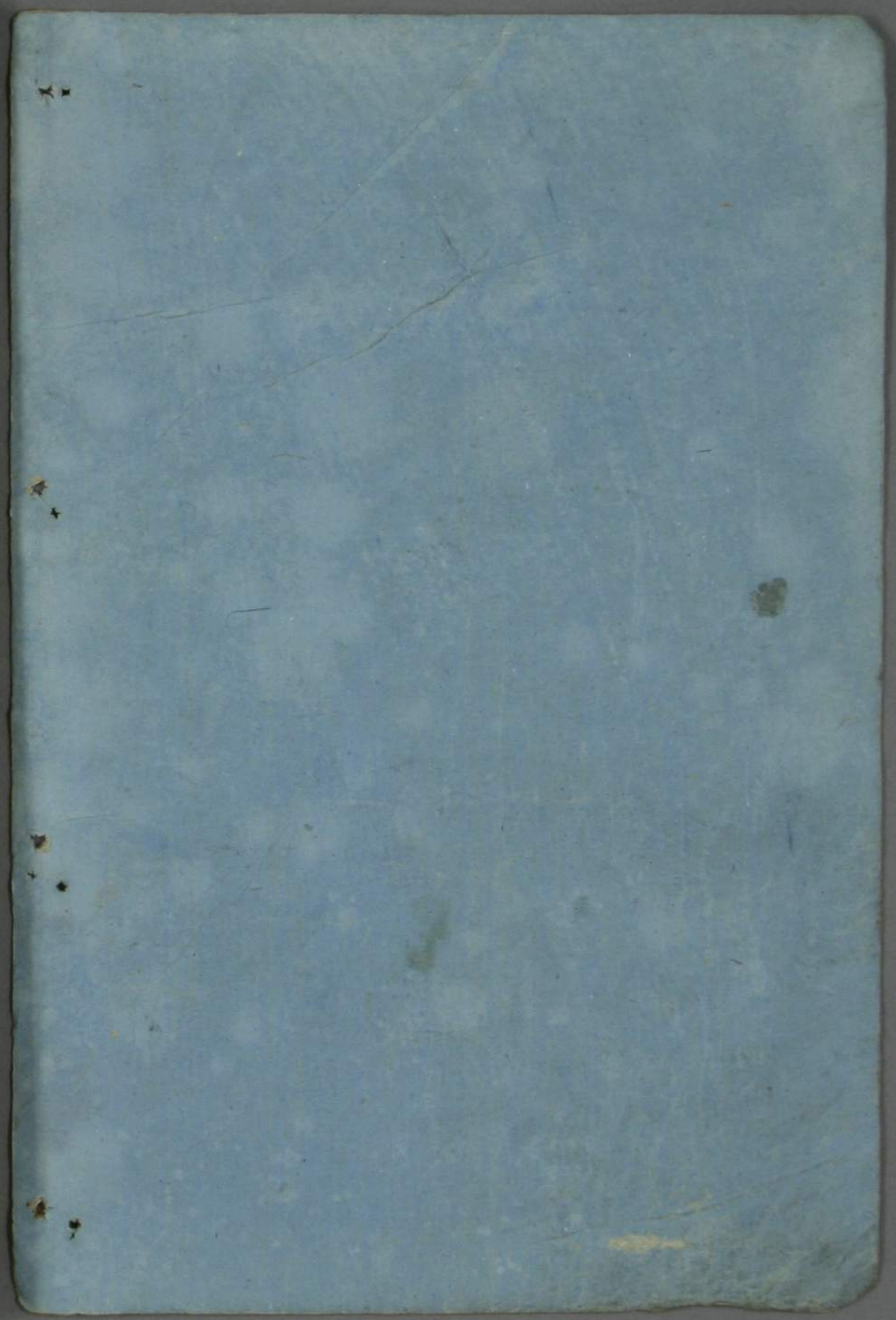


源十世  
繪世  
氏

下  
の  
巻

小  
夢  
子  
ま  
ま  
ち

板  
元  
森  
治



少の少断  
十一の八下



十一の八下

171

172







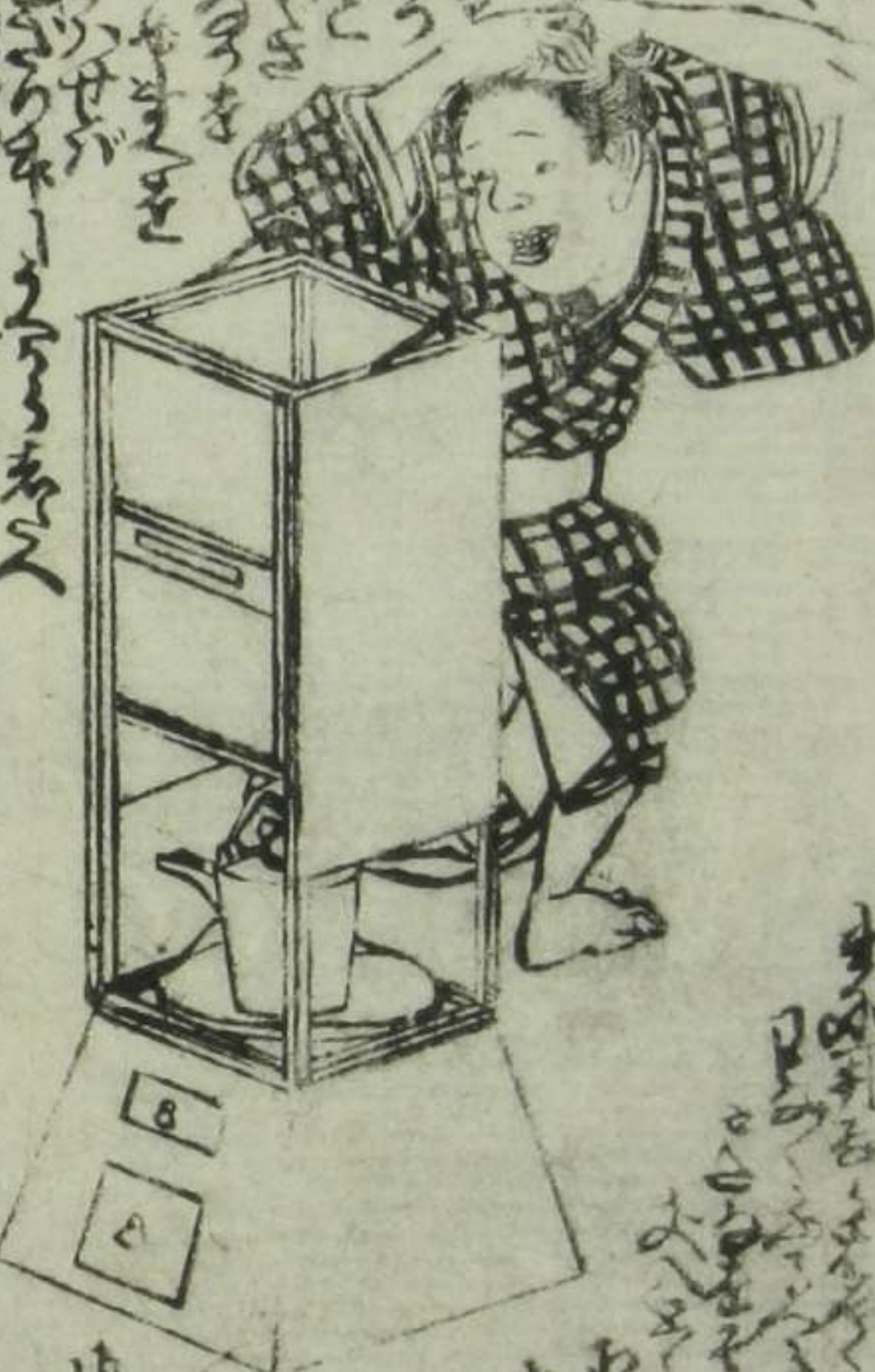
Vertical text columns on the left page, including a page number '十三' at the top and '十一' at the bottom.



Vertical text columns on the right page, including a page number '十四' at the top and '十二' at the bottom.



白丸の甘味を食すは...  
 甘味は...  
 甘味は...  
 甘味は...  
 甘味は...



甘味は...  
 甘味は...  
 甘味は...  
 甘味は...  
 甘味は...





四才女はついでに  
 二才女はついでに  
 一才女はついでに  
 ... (vertical text describing the scene and characters)

... (horizontal text at the bottom of the illustration)



... (vertical text on the left side of the illustration)

... (vertical text below the illustration)

... (horizontal text at the bottom of the illustration)

丁十三編下

十六









**第十一 小町**  
 小町の町へかたがたのちのちのち  
 一日もあつてはたつたあはれも  
 まじりてはたつたあはれも  
 小町のかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち  
 小町の町へかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち  
 小町の町へかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち

小の小町



小町の町へかたがたのちのちのち  
 一日もあつてはたつたあはれも  
 まじりてはたつたあはれも  
 小町のかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち  
 小町の町へかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち  
 小町の町へかたがたのちのちのち  
 せいのちのちのちのちのち

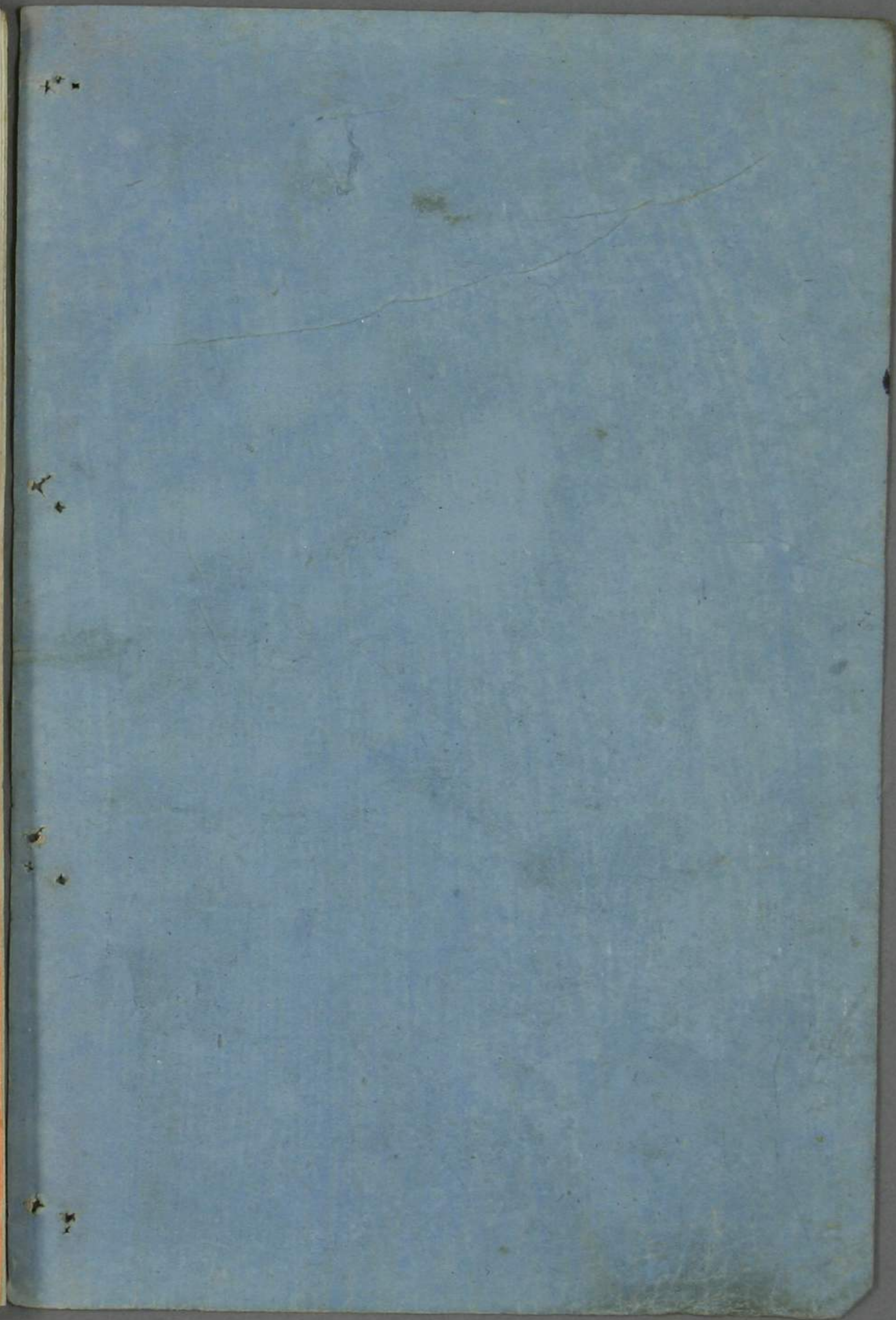
小の小町

小の小町  
 小の小町  
 小の小町





小野小町  
き世げん  
京山作豊田  
忍上





まじりたてまつる  
きりしび  
ふらふらかせらふ  
つとますれか  
まじりたのりみち  
まじりたのりみち  
まじりたのりみち  
まじりたのりみち

山東菴

まじりたのりみち  
まじりたのりみち

まじりたのりみち  
まじりたのりみち

二五十四

小世乃小町  
浮きよ 濼氏 絵

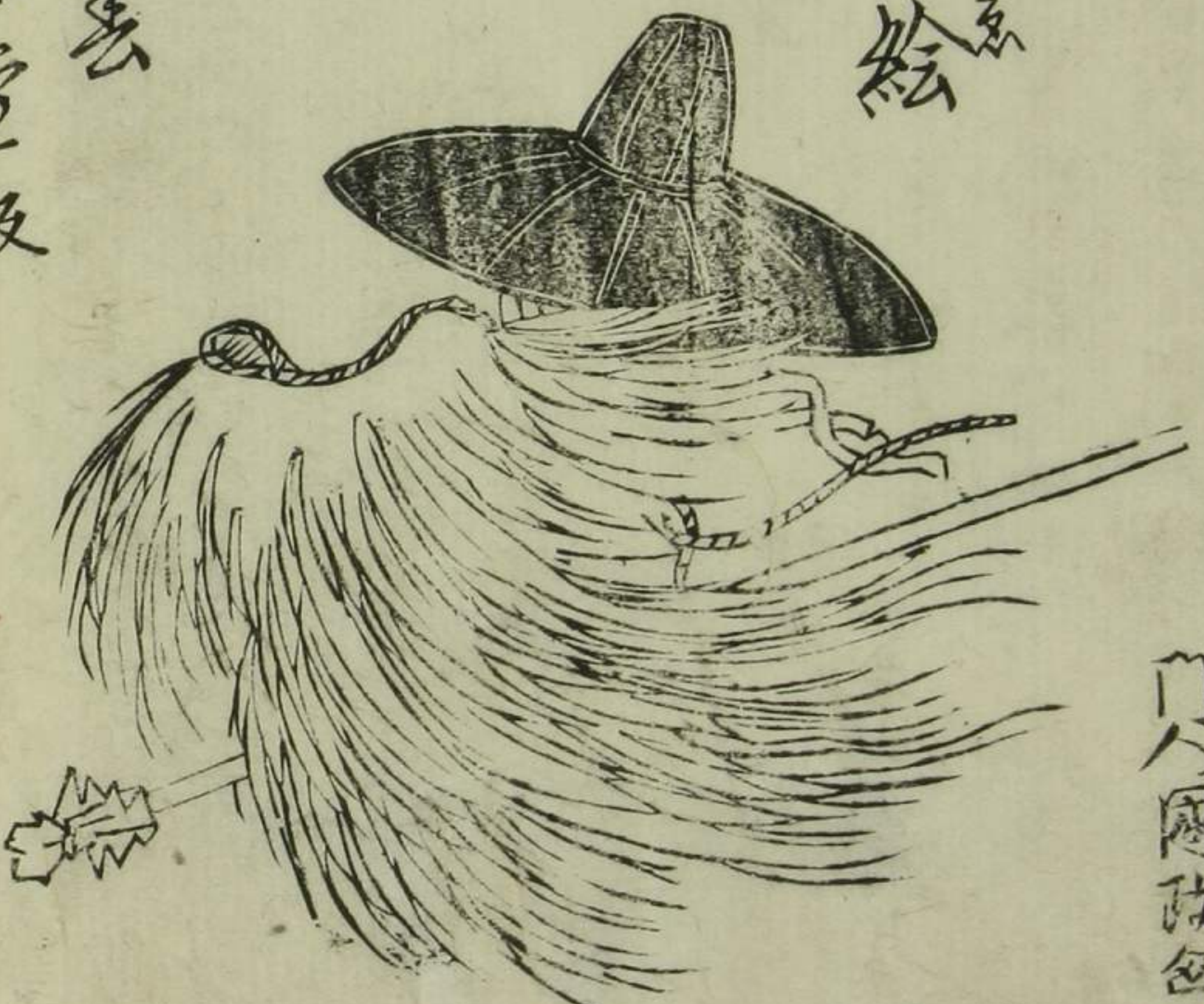
十四編上

京山作

豊國画

弘化四年丁未表

錦素堂板



門八國政包

小野小町浮世源氏繪十四編  
 弘化三年丙午秋稿本同仲冬上梓發行

此小町の小町の丹  
 ざりは今年弘化  
 三とせより十七年  
 のせん文政十二年の  
 二月初之の年  
 考へおぼし初め  
 考へおぼし初め  
 うやうや  
 けふふふ  
 えひあえ  
 思ふもさあふ  
 ぞりけやとほあふ  
 けふふふ  
 丁酉此年十二編と作  
 板りほつる小編此人物



小の小町

いふことそのまゝの成るやめなるもまかりた  
 とれのもの編をほるなり小こじに弘化三年  
 丙午の秋板元たりて十二編板りもあつて  
 さいふもさあふの板元なりとて  
 いふことそのまゝの成るやめなるもまかりた  
 とれのもの編をほるなり小こじに弘化三年  
 丙午の秋板元たりて十二編板りもあつて  
 さいふもさあふの板元なりとて  
 いふことそのまゝの成るやめなるもまかりた  
 とれのもの編をほるなり小こじに弘化三年  
 丙午の秋板元たりて十二編板りもあつて  
 さいふもさあふの板元なりとて



ふつふ  
 おひ  
 よよ

古今集春の部の下  
題 志らむ

小野小町

花のいろはにけりあけりあ  
りてふくまふ世よふあ  
あかたせしまた

古今集の序  
花をよめんとあり

古今集の序

小野の小河の通

花のいろはにけりあけりあ

ありてふくまふ世よふあ

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた



白妙の内侍

とらふ花のつらふ小町は  
すじつあかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた

あかたせしまた













「おれは...」と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...



「おれは...」と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...



「おれは...」と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...  
おれは...と云ふを聞きしとて、おれは...



Handwritten Japanese text at the top of the left page, likely a preface or introductory text.



丈八

ヤアチヤ  
七百枚の  
一れやき  
あるハ

Handwritten Japanese text at the bottom of the left page, continuing the narrative or commentary.

Handwritten Japanese text at the top of the right page, above the illustration.

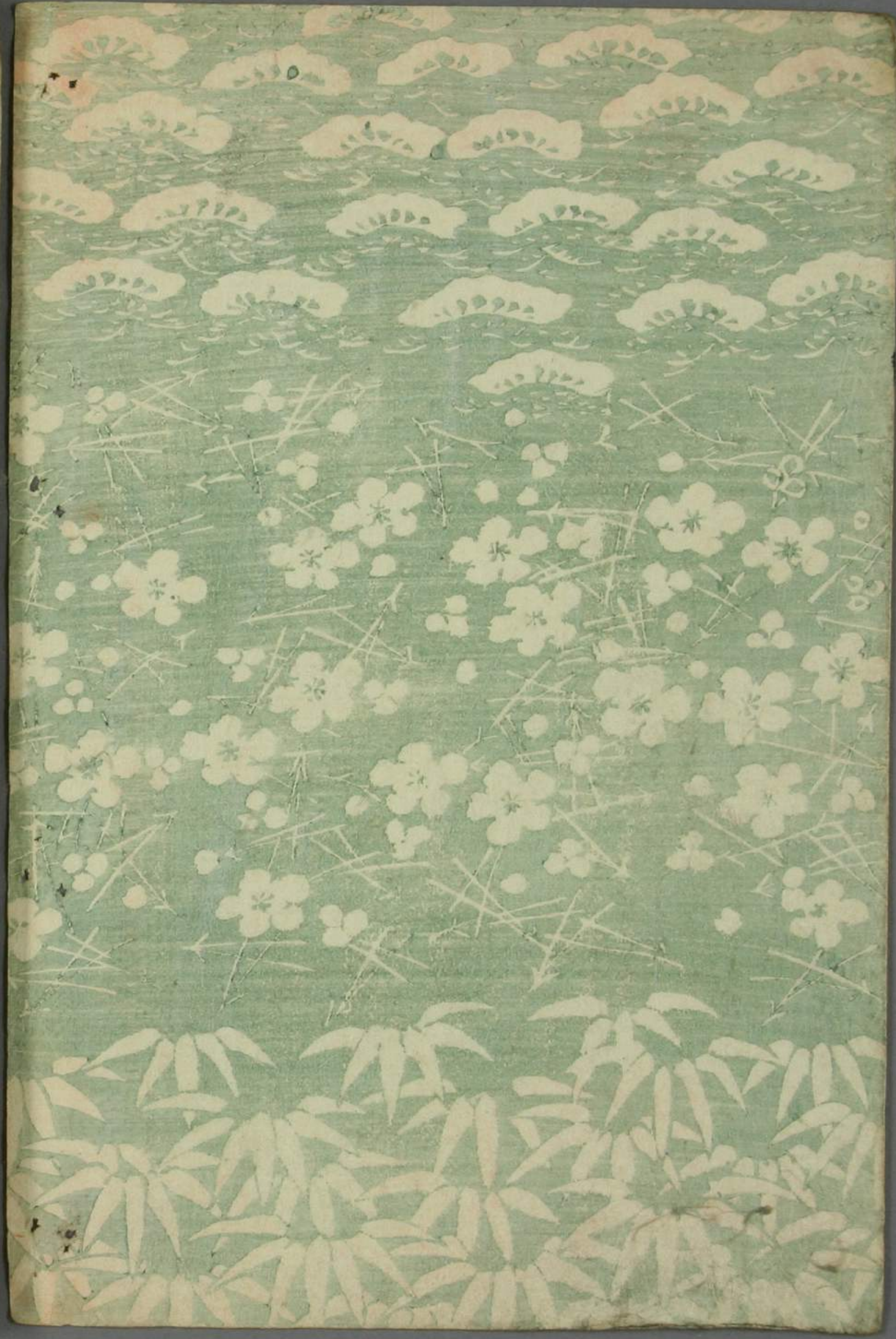


白九の女房の  
あつたかたの  
あつたかた

Handwritten Japanese text at the bottom of the right page, below the illustration.



老のこまのりきりげん  
きやうせんくひまふか  
下













二百四十  
 一、二百四十...  
 二、二百四十...  
 三、二百四十...  
 四、二百四十...  
 五、二百四十...  
 六、二百四十...  
 七、二百四十...  
 八、二百四十...  
 九、二百四十...  
 十、二百四十...



二百四十  
 一、二百四十...  
 二、二百四十...  
 三、二百四十...  
 四、二百四十...  
 五、二百四十...  
 六、二百四十...  
 七、二百四十...  
 八、二百四十...  
 九、二百四十...  
 十、二百四十...







愛四郎  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、



十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、



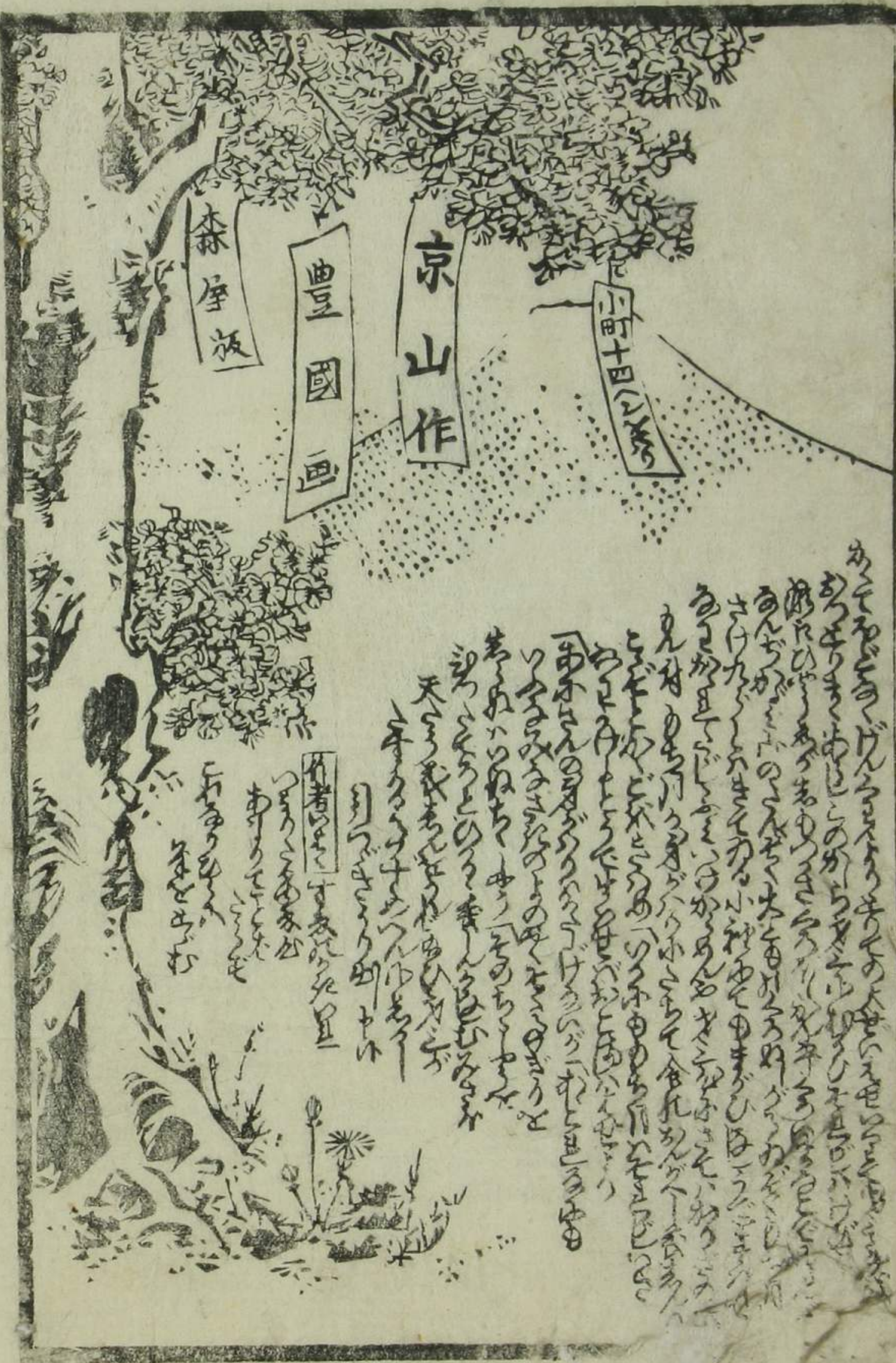
二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、

三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、









竹取物語

山東京山作  
十編

小野浮世源氏繪

全  
一陽齋豊國画

忠孝二面鏡

三編 作画

讀而未末記

東里山人作  
二編  
歌川貞秀画

勧善浮世車

松亭金水作  
全四册  
攝塚棟貞房画

川きり紙

東里山人作  
二編  
歌川貞秀画

當世輕口

豐年舎作  
全二册  
右出 全画

風謎の親玉

東里山人作  
全二册  
右全画

春遊 手品の志と至

全二册

方言  
修行

金けりば諸國遍路  
故人十経舎一丸作

森屋

治郎兵衛  
江戸馬喰町三丁目

